

カルチャートーク Creators@Kamogawa

Creators@Kamogawa は、日本とドイツのクリエイターが、アートやカルチャーに関連する話題について語り合うイベントシリーズです。

第1部：断片からの創作

土地や風景や特定の場所が、文学、アート、建築に影響を与えた例は枚挙に暇がありません。場所についての、歴史的、地理的、考古学的、地質学的、さらには社会的なリサーチに基づいて、自らの表現を行う芸術家も少なからず見受けられます。ささやかでひそやかな断片から壮大な作品をつくり出す魔術的プロセスとは？ 建築家フランク・ロイド・ライトとブルーノ・タウトの日本での活動を追うレジデントふたりと、タイルや絵葉書など、文字どおりの断片をもとに記憶や物語を喚起する日本人アーティストが語り合います。

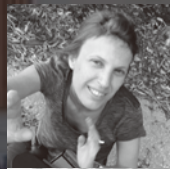
第2部：畳と断捨離

伝統的な日本建築の魅力は「引き算」にあると言われてきました。簡素な空間の中で最低限の家具だけで暮らす「Less is More」の美学。とはいえ、大量生産・大量消費の時代に、私たちはいまだにそんな生活ができるのか？ ミニマリスティックな日本家屋は存在意義を失いつつあるのではないのか？ そもそも「断捨離」は必要なのか？ 「持続可能な建築」についての講義を行い、日本建築に詳しいドイツ人建築家のレジデントと、東京などの都市や様々な建築に関するフィールドワークを重ねてきた日本人建築家が意見を交わします。

トークの後は、館内のドイツカフェ『カフェ・ミュラー』にて、ドイツビールやおつまみを片手に交流をお楽しみください。交流会では、滞在中のドイツの芸術家の作品も、モニターでご覧いただけます。



GOETHE
INSTITUT
VILLA KAMOGAWA



マリアンナ・クリストフィデス (美術家) Marianna Christofides (Bildende Künstlerin)

1980年キプロス生まれ。ケルンとロンドンでメディアアートを学んだ。映像、インスタレーション、テキスタイルなどを用いて歴史的な場所と多面的に取り組む。2011年の第54回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展キプロス館での展示など、世界各地で作品発表を行う。
www.mariannachristofides.com



ベルント・ブロインリヒ (文筆家) Bernd Bräunlich (Autor)

1965年生まれ。フランクフルトとマインツでドイツ文学と古典文献学を学んだ。文化学や歴史に関心を持ち、2009年以降、マリアンナ・クリストフィデスと数多くの共同プロジェクトを行っている。

ふたりは、ヴィラ鴨川滞在中、建築家フランク・ロイド・ライトとブルーノ・タウトの日本での軌跡や、日本の地質学的特徴などのリサーチを行い、映像インスタレーションや、写真と文章による本を創作する予定。



撮影：表 恒匡

中村 裕太 (美術家) Yuta Nakamura (Bildender Künstler)

1983年東京生まれ。2011年京都精華大学芸術研究科博士後期課程修了。博士(芸術)。〈民俗と建築にまつわる工芸〉という視点から陶磁器、タイルなどの学術研究と作品制作を行なう。最近の展示に「六本木クロッシング2013」(森美術館、2013年)、「第20回シドニー・ビエンナーレ」(キャレレッジワークス、2016年)、「あいちトリエンナーレ2016」(愛知県美術館、2016年)、「東アジア文化都市2017京都」(京都芸術センター、2017年)など。nakamurayuta.jp



アンスガー・シュタウト (建築家) Ansgar Staudt (Architekt)

1972年生まれ。シュトゥットガルトとスイスで建築を学んだ後、カールスルーエ工科大学 (KIT) で研究員や講師を務め、日本の建築についての研究セミナーも行った。バーゼルの「ノバルティス・キャンパス」内での谷口吉生氏設計ビル建設に携わるなど、スイスやドイツを中心に建築家として活動。建築専門誌で活発な執筆活動も行う。ヴィラ鴨川滞在中は、日本の伝統建築や現代建築における「内」と「外」の関係性や、空間の変容性などをリサーチ予定。www.ansgarstaudt.ch



塚本 由晴 (建築家/アトリエ・ワン) Yoshiharu Tsukamoto (Architekt Atelier Bow-Wow)

1965年生まれ。貝島桃代と1992年にアトリエ・ワンを設立し、建築、公共空間、家具の設計、フィールドサーベイ、教育、美術展への出展、展覧会キュレーション、執筆など幅広い活動を展開。ふるまい学を提唱して、建築デザインのエコロジカルな転回を推進し、建築を産業の側から人々や地域に引き戻そうとしている。近年の作品に『恋する豚研究所』『BMW Guggenheim Lab』など。著書に『図解アトリエ・ワン』『WindowScape』など。東京工業大学大学院教授。bow-wow.jp



小崎 哲哉 (司会、構成) Tetsuya Ozaki (Moderator)

1955年東京生まれ。ウェブマガジン『REALKYOTO』発行人兼編集長。写真集『百年の愚行』『続・百年の愚行』を編著者として刊行し、現代アート雑誌『ART IT』を創刊した。京都造形芸術大学大学院学術研究センター客員研究員、同大学舞台芸術研究センター主任研究員、同大学院、愛知県立芸術大学講師。あいちトリエンナーレ2013のパフォーミングアーツ統括プロデューサーも担当した。2018年3月、『現代アートとは何か』を河出書房新社より刊行。reallykoto.jp

主催・お問い合わせ
Goethe-Institut Villa Kamogawa
京都市左京区吉田河原町19-3 (川端通り荒神橋上)

TEL: 075-761-2188 (内線31#)

info-kyoto@goethe.de

www.goethe.de/villa-kamogawa



〈交通のご案内〉

京阪電車 出町柳駅より 南へ徒歩8分

京阪電車 神宮丸太町駅より 北へ徒歩6分

館内のドイツカフェ『カフェ・ミュラー』も、ドイツビールや軽食などをご用意して、皆様のお越しをお待ちしています。(カフェ・ミュラーでの飲食は各自ご負担ください)

